

第八十一回 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道 特別委員會議事速記録第二號
帝國議會 貴族院 買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

昭和十八年二月十三日(土曜日)午前十時
八分開會

○委員長(公爵島津忠承君) 是ヨリ開會致
シマス、御質問ヲ願ヒマス

○先行次郎君 私人海運カラ陸運ニ轉ゼラ
レナケレバナラナイ現下ノ時局ニ於テ、政
府ガ私設鐵道ヲ買收スルト云フコトハ至極
尤モナコトト考ヘマス、尙又其ノ鐵道ガ買
收ニ適スルト云フコトニ付テモサウデアル
ト信ズルモノデアリマスガ、唯一言御尋ネ
シタイコトハ此ノ私設鐵道ヲ買收スルニ付
テハ公債ヲ以テスル、サウスルト其ノ公債
ハ七千萬圓、其ノ筋ノ者カラ聞ク所ニ依リ
マスレバ一億二千萬圓位ニナルガラウ、ソ
レハ建設費トカ何トカ云フヤウナ色々ナモ
ノガアッテ、政府ハ七千萬圓ト仰シヤルケレ
ドモ、實際ニハ一億二千萬圓ニ上ルガラ
ウト云フヤウナ觀察ヲシテ居ル向モアリマ
ス、サウスルト一億圓以上ノ公債ガ株主ニ
渡リマシテ、ソレガ市場ニ撒布サレルト云
フコトハ、是ハ「インフレーション」惹起スル虞ガ
多分ニアルモノト信ゼラレルノデ、其ノ點
ニ政府ハ意ヲ留メテ、此ノ公債ハ登錄公債
トシテ其ノ會社ニ保留セシメテ置ク、斯ウ
云フ案ガアラセラレヤウニ新聞ナンカデ
承リマスガ、サスレバ此ノ公債ノ利子ハ三
分五厘カ三分七厘カ、サウシテ被買收會社
ノ株金ノ配當ハ七分若シハ八分ノ所モア
ルノデアリマスカラ、サウスルト七分ノ配
當ヲ受取ル所ノ會社ノ株主ハモウ目前ニ半
分損ヲシナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ

コトニナリハセヌカト思フノデアリマスガ、
ソレモ時局上ニ已ムヲ得ヌ、ソレハモウソレ
位ノコトハ忍バナケレバナラスト言ヘバ、
ソレ迄ゴザイマスガ、併シソレデハ政治
ニナリマセヌ、出來ルダケ株主ノ利益ヲ圖
テヤルト云フコトガ所謂政治デアラウト思
フノデアリマスガ、聞ク所ニ依レバ、鐵道
大臣ハ其ノ點ニ付テ大イニ盡力サレテ、親
心ヲ以テ各會社ヲ支持シテ、サウシテ株主
ニモ成ルベク迷惑ガ掛ラヌヤウニト云フ心
掛デヤッテ居ラル、ト云フコトヲ漏レ承リ
マスガ、左様ナ事實ガアルデゴザイマセウ
カ、大臣ノ御説明ヲ承リタイト思ヒマス
○國務大臣(八田嘉明君) 御答ヘ申上ゲマ
スガ、御承知ノヤウニ鐵道ノ買收ニ伴ヒマ
スル公債ハ、地方鐵道法ノ規定ニ依リマシ
テ一定ノ原則ノ下ニ買收價格ガ決定シ、サ
ウシテ之ニ定メラレマシタル所ノ交付公債
ヲ發行スル譯デアリマス、從ヒマンテ規定
ノ示ス通り大體最近ノ三箇年間に益金ノ平
均額ヲ基ト致シマシテ、ソレヲ五分還元致
シマシテ、サウシテ之ヲ公債ノ額面デ交付
スル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、從ヒ
マシテ申上ゲモナク、益金ノ多イ會社ハソ
レダケ割合多ク公債ノ額面ヲ交付セラレル
譯デアリマスルシ、又益金ガ少イモノニ付
キマシテハソレダケ割合ガ少イ、而シテ其
ノ還元シタル額ガ建設費ヲ割リマス場合ニハ、
建設費以內ニ於テ適當ナル額ヲ以テ協定
スルコトニ相成ッテ居リマス、最近ノ實績ニ
依リマスルト、大體建設費ト、ソレカラ益

金ヲ還元致シマシタル額ノ方ガ少イ場合ニハ、
ソレト建設費トノ間ニ於テ之ヲ決定致シテ
居ル譯デアリマス、今回買收致シマスル十
二鐵道ノ中ニモ、或モノハ益金ニ依ル還元
額ガ遙カニ建設費ヨリ高位ニアルモノモア
リマスルシ、又逆ノ場合モアリマスルノデ、
只今極ク簡單ニ申上ゲマシタル原則、即チ地
方鐵道法ノ條項ニ示シマス所ノ買收規定ニ
依ッテ決定セラレルノデアリマス、サウ云
フ點ニ於キマシテハ、十分買收價格其ノモ
トニ於キマシテ、鐵道省ト致シマシテ八十
分法規ノ定メマスル範圍ニ於キマシテ、出來
ルダケ實情ニ即シテ被買收會社ノ立場ヲモ
考慮致シテ此ノコトヲ實行致シテ參ル筈デ
アリマス、而シテ只今御尋ノ「インフレーション」
防止ト云フコトニ付キマシテハ今回此
ノ十二鐵道ノ買收案ヲ決定致シマスル際、
政府ニ於キマシテモ、鐵道省或ハ大藏省等
ノ關係廳ニ於キマシテ十分此ノ點ヲ考慮
致シマシテ、豫メ打合せヲ致シマシタル結果、
實ハモウ少シク鐵道ヲ買收致シタイト考ヘ
タノデアリマスルガ、只今御話ノアリマシ
タ如ク、總額建設費ニ於テハ七千萬圓デア
リマスガ、發行公債額面ニ於キマシテハ、
恐ラクハ一億圓ヲ越スガラウト豫想シテ居
ルヤウナ關係カラ致シマシテ、大體其ノ程
度ニ止メマシタル結果、實ハ鐵道省トシテハ
鐵道系絡ノ上カラモウ少シク二三ノ鐵道ヲ買
收シタイト云フ原案デアリマシタルケレドモ、此
ノ程度ニ止メタノデアリマス、而シテ此ノ一億、
何程ニナリマスカ、ソレニ致シマシテモ、相當

戰時下ニ於ケル所ノ經濟界ニ惡影響ガゴザ
イマシテハ是ハイケナイノデアリマスカラ、
此ノ「インフレーション」ノ惡影響ノ防止ト
云フコトニ付キマシテハ、政府ニ於キマシ
テモ十分ナル考慮ヲ拂ッテ居ルノデアリマ
ス、其ノ點ニ付キマシテ簡單ニ申上ゲマスル
ト、成ルベク事情ガ許スナラバ、被買收會
社モ其ノ儘會社ヲ存続スル、即チ事業ガ他
ニアリマスレバ勿論デアリマスルガ、鐵道
事業、ダケシカ從來營業致シテ居リマセヌ會
社デアリマシテモ、之ヲ解散セズシテ濟ム
ナラバソレヲ存続サセルヤウニ致シタイト
思ヒマス、サウシテ其ノ買收後ノ色々ノ支
出、例ヘバ債務ノ辨濟デアリマスルトカ、
或ハ從業員ノ解散手當デアリマスルトカ、
或ハ殘餘財産ノ分配金等ニ付キマシテハ、
從來ハ其ノ交付公債ヲ其ノ儘處分シマシテ、
金ニ換ヘテサウ云フモノヲ處理サレタノデ
アリマスガ、今回ハサウ云フモノハ時局ニ
鑑ミマシテ、從來ノ例ニ據ラズニ、ソレゾ
レ此ノ點ニ付キマシテ十二會社ト豫メ協議
ヲ遂ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、政府
ト會社トノ間ノ協定ノ中ニ條項ヲ設ケマシ
テ、國債證券ノ受領後ノ處置ハ政府ガ之ヲ
指示スルト云フコトヲ協定致シテ居ルヤウ
ナ次第デアリマス、之ニ依リマシテ今後此
ノ法案ガ議會ノ御協賛ヲ得マシテ、サウシ
テ愈々實地ヲ調ベマシテ、サウシテ交付ノ公
債額等ガ決リマス際ニ於キマシテハ、十分
ニ此ノ點ニ付テ當事者間ニ遺憾ナキ處置ヲ
講ジタイト思ッテ居リマス、只今御話ノアリ

マシタ、例へば交付公債ヲ登錄公債トスル
ト云フコトモ考ヘテ居リマス、又繰返シテ
申上ゲマス、債務ノ辨濟或ハ退職金等モ原
則トシテ交付公債デ之ヲ交付スルト云フ
風ニ致スコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、
尙又此ノ買收サレマシタ會社ガ解散セズシ
テ存続スルヤウナ場合ニ於キマシテハ、許
ス限リニ於キマシテハ、今回ノ議會ニ提案
サレテ居リマス臨時租稅措置法中ノ改正
法律案ノ規定スル所ヲ準用致シマシテ、或
ハ所得稅、法人稅、營業稅、或ハ臨時利得
稅ト云フヤウナモノヲ其ノ會社ノ個々ノ事
情ニ應ジマシテ輕減スルト云フコトモ考ヘ
ラレテ居ルノデアリマス、要スルニ此ノ買
收ニ依ッテ被買收會社ガ不當ノ不利益ヲ蒙
ルコトノナイヤウニ、一方ニ於キマシテハ
是等ノ點ニ付テ考ヘマスルト同時ニ、公債
發行ニ依リマスル所ノ經濟界ニ對スル惡影
響ニ對シマシテ、又極力防止ノ方法ヲ講ジ
テ居ル次第デゴザイマス

○光行次郎君 能ク了承致シマシタ
○男爵神山嘉瑞君 只今光行委員カラ此ノ
度北海道鐵道以下十二ノ買收問題ニ付テノ
質問ニ對シテ大臣カラ御説明ガアッタノデア
リマスガ、私モ其ノ點ニ付キマシテ聊カ伺
テ御教示ヲ願ヒタイト思フ次第デゴザイマ
ス、ソレハ只今買收ノ御話ガ出タノデアリ
マスルガ、此ノ度ノ買收ト云フモノハ、恐
ラク過般確立致シマシタ戰時ノ陸運、非常體
制、ソレノ一ツノ表レデアラウト考ヘルノデ
アリマス、ソレニ付キマシテ、昨日モ政府
委員ヨリ大體ニ於キマシテ、此ノ度買收サ
ルベキ鐵道ノ各線ニ付テノ御説明ガアッタノ
デアリマスルガ、從來私鐵鐵道トシテ運營
サレテ居リマシタモノガ、今後國鐵ノ方ニ

移管サレマシテ所謂國營トナリ、益、以テ戰
時ノ陸運ノ非常體制ヲ確立サレル基礎ニナ
ル譯デアリマスガ、就キマシテハ從來私鐵
トシテ經營サレテ居リマシタモノガ、今後
國鐵トシテ經營サレ、ルニ當リマシテドレ程
ノ差ト申シマスカ、運營上ノ效果ト云フコ
トニ付キマシテ聊カ御伺ヒ致シタイノデア
リマシテ、今少シク昨日ノ御説明ニ附加シ
テ具體的ニ御説明ヲ願ヒタイト斯ウ考ヘル
ノデアリマス

○國務大臣(八田嘉明君) 政府委員カラ御
答ヘ致シタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤榮作君) 只今ノ御話ハ個
個ノ線ニ付キマシテノ説明ヲモウ少シ詳シ
ク致スコトハ時間ガアリマスレバ致シタイ
ト斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、抽
象的ニ一般的ニ申上ゲテ見マスルト、今日
ノ情勢下ニ於キマシテハ、國有鐵道ヲ根幹
ト致シマシテ、各地方鐵道、軌道、バス、
「トラック」有ラニル陸運機關ガ有機的ニ連
繫サレ、其ノ能力ヲ綜合ノ最高度ニ發揮サ
ス、斯ウ云フヤウニ運營サレテ居ル譯デゴ
ザイマス、其ノ點ハ能ク御承知ノ通りダト
思ヒマスルガ、斯ウ云フヤウナ方針デ運營
シテ居リマシテモ、尙且國ガ地方鐵道ノ一
部ヲ此ノ際國鐵ニ編入シテ、サウシテ一貫
的運營ヲスル此ノ所以ノモノハ、個々ノ會
社トシテ存続スルコトニ依リマシテハ、ソ
レゾレノ使命ヲ遂行シテ行ク上ニ於キマシ
テドウモ十全ト言ヒ難イ、尙又他ノ言葉ヲ
藉リテ申セバ隔靴搔痒ノ感ガアル、斯ウ云
フヤウナ意味ニ於キマシテ、先ヅ此ノ經營
ノ本體ヲ國ニ移シテ茲ニ強力ナ戰時陸運ノ
完遂ヲ期シテ行ク、方針ノ徹底ヲ期シテ行
クコトガ先ヅ根本ダト斯様ニ考ヘルノデゴ

ザイマス、勿論私鐵部門ニ對シマシテハ、或
ハ統制會ヲ作ッテ行ク、其ノ統制會ヲ通ジ
テ國策ニ社線ヲ協力サシテ行ク、斯ウ云フ方
法モ講ジテ居リマス、併シナガラ特殊ノ港灣
地帶ニ於キマシテ或一ツノ施設計畫ヲ進メ
テ行クトカ、或ハ配車ノ實際カラ見マシテ
モ、ソレガ一ノ機關ノ下ニ於テ計畫サレ、
運用サレルト云フコトガ最モ望マシイノデ
アリマス、サウ云フヤウナ場所、サウ云フ
ヤウナ線ニ付キマシテハ、此ノ際其ノ經營
ヲ國ニ移シテ行ク、先ヅ其ノ點ヲ取上ゲタ
譯デゴザイマス、或ハ之ニ付キマシテハモッ
ト根本的ノ問題ト致シマシテ、我が國ノ鐵
道自身ガ國有ヲ本則トシテ居ルト、斯ウ云
フコトモ考ヘラレルト思ヒマスレドモ、
時局下ニ於キマシテ國鐵ニ編入スル所以ノ
モノハ、ソレノ一ノ路線ノ持チマス使命ナ
リ、或ハ其ノ鐵道ガ活動シテ居リマス主體
ガ、我が國ニ於キマシテ戰時下生産力擴充
上カラ見マシテ、或ハ戰力增強上カラ見マ
シテ特ニ其ノ輸送ヲ強化シタイ、殊ニ圓滑
ナル運轉ノ遂行ヲ期シタイ、斯ウ云フヤウ
ニ念願サレテ居ル地方ヲ選ビマシテ、其ノ
土地ノ鐵道ヲ買收スル、斯ウ云フコトニナ
ル譯デアリマス、唯時局柄デアリマスノデ、
ナカノ一思フヤウニ施設ノ改善ナリ、或ハ
車輛ノ増備計畫ナリハ進マナイコトト考ヘ
マス、併シナガラ今申上ゲル基本的ナ運營
形態ガ單一ニナッテ、サウシテ命令ノ徹底ガ
末端迄期セラレ、斯ウ云フコトガ一番大
キナコトドラウト考ヘマスシ、更ニ又資材
其ノ他ノ計畫ニ致シマシテモ、全體トシテノ
恒久的ナ計畫ト云フヤウナモノモ非常ニ立
チ易クナルコトダト思ヒマス、又日常ノ細
カナ事デアリマスガ、貨車ノ運用デアルト

カ、或ハ運轉上ノ指示デアルトカ、或ハ客
貨ノ取扱ヒデアルトカ、サウ云フ點ニ於キ
マシテハ細カナ利便ガソレト考ヘラレ、
斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、
唯今回ノ鐵道ノ中ニ於キマシテハ、宇部小
野田ノ如ク昨年ノ風水害ノ被害ノ相當大キ
ナ鐵道ガアリマス、斯ウ云フヤウナ所ニ付
キマシテハ特別ノ輸送ノ強化方策ヲ執リ、
施設ノ改善等モ積極的ニヤッテ行ク必要ガ
アル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵神山嘉瑞君 只今ノ細カイ御説明デ
大體了解致シタノデゴザイマスルガ、ソレ
ニ關聯シマシテ、ト申シマスルカ、要スル
ニ買收ノ目的ガ、只今伺ッテ居リマス、軍
事上、或ハ重要産業強化ト云フヤウナ方面
カラ所謂國策ニ則ッタ此ノ度ノ移管デア
ルト云フコトニ付テハ何等異議ハナイノデア
リマスルガ、ソレニ付キマシテ考ヘラレマ
スノハ、買收サレテ國鐵ニ移管サレマスル
建前ガ、戰時ノ陸運非常體制確立ノ一端ト
シテナサレルト云フノデアリマシテ、今日
伺ッテ居リマス範圍ノ所謂陸上輸送ノ強化
ト云フコトニ付キマシテ最モ問題ニナッテ居
リマスルノハ、例ノ石炭ノ増送デアリマス、
ソレデ今日ハ一ニモ石炭、二ニモ石炭ト云
フ風ニ、増送ヲサレテノ計畫デアリマスル
ガ、今後益、石炭モ増送サレルデアリマセウ
ガ、次イデ起リ得ルノ他ノ資材、例ヘテ
見マスレバ、鐵鋼トカ、或ハ木材、「セメン
ト」、有ラニル方面ノ資材ト云フモノガ、益、
量的ニ増加シテ、國鐵ニ移ッテ來ルト思フノ
デアリマス、ソレニ付キマシテハ、海上ノ輸送
ト云フモノガ、今日御承知ノ通りノ狀態デ
アル限り、是等陸上輸送、詰リ國鐵ノ負擔
ト云フモノガ非常ニ殖エテ來ル、ソレニ付

テノ對策デアリマスルガ、一方ニ鐵ノ精鍊ト申シマスルカ、製鐵業其ノ他ヲ助ケル爲ニ、石炭ノ増送ヲ圖ッテ居ル矢先ニ、今後益、他ノ資材ガ入ッテ來ルト云フコトニナリマスルト、國鐵ハ常ニ、何ト申シマスルカ、鐵資材ト云フモノト離レテハ、一日モ仕事ノ出來ナイ性質ノモノデアルト考ヘルノデアリマス、其ノ點今日此ノ貨車ノ増備トカ、或ハ線路ノ増強トカ、「ヤード」ノ施設ノ改善トカ云フヤウナコトヲ圖ラレマシテ、果シテソレダケ是カラ益、殖エテ行キマス貨物ノ量的ノ負擔ト云フモノヲコナシテ行ケルカドウカト云フコトガ非常ニ懸念サレル次第デアリマス、從ッテ私ノ御伺ヒシタイト云フノハ、サウ云ツタ今後益、殖エテ來ル重要物資ノ輸送ニ對應スル爲ダケノ施設ガ、今後ドウ云フ風ニナッテ行ケルカ、又ドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレカト云フコトヲ實ハ御伺ヒシタイトノデアリマス、ソレカラ尙數行致シマスルガ、重要物資ト申シマスルト、兎角我我ノ頭ニハ南方ノ物資ト云フコトガ、直グ考ヘラレルノデアリマスルガ、今日手近ノ、所謂大陸ノ方面ノ物資、地下資源ノ重要物資ト云フモノヲ、内地ニ輸送スル大陸鐵道ト、國內ノ所謂國有鐵道トノ聯繫ガドウ云フ風ニナッテ居ルカト云フヤウナコトモ、御伺ヒシタイト思ヒマス、先ヅ其ノ二點ニ付キマシテ、政府委員ノ御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(堀木鐵三君) 今御尋ノ二點ニ付テ御答ヘ申上ゲマス、御質問ノ通りニ、實ハ石炭ダケヲ目ニ著ケテ居ル譯ニハ行カナイ狀態ニアリマス、私共モ初メ石炭ノ陸運轉化ト云フコトヲ計畫化致シマス時ニハ、實ハ石炭輸送ガ實際ノ輸送量ト致シマ

シテ、非常ニ大キナ數量ヲ占メテ居リマス、御承知ノ通りニ陸運デハ大體全輸送數量ノ三分ノ一、海運デハ全輸送數量ノ約二分ノ一ト云フヤウナ大量ノ貨物デゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ、相當計畫ガ立チマスレバト云フ事柄モ一ツデゴザイマシタ、尙石炭ノ増産及需給關係ト睨ミ合セマシテ、此ノ點ヲ先ヅ眞先ニ取上ゲタ譯デアリマス、併シナガラ七月六日ノ閣議デ決定致シマシテ此ノ計畫ヲ取上ゲマス以前カラ、既ニ地域の御話ノ通りニ、「セメント」デゴザイマスルトカ、或ハ鉄鋼デゴザイマスルトカ、其ノ他ノ鐵、鉄鐵及其ノ原材料鑛石ヲ始メト致シマシテ、サウ云フ種類ノモノガ實ハ相當數陸運ニ轉化セザルヲ得ナカッタノデアリマス、今度實ハ鐵道省ノ豫算ト致シマシテ、御協賛ヲ願ッテ居リマスノモ、是等ノ物資ヲ陸上ニ轉位致シマスニ必要ナ觀點カラノミノモノヲ實ハ舉ゲテ居ル、之ニ殆ド主力ト申シマスカ、全精力ヲ注イデ計畫ガ立テアル、極クザツト簡單ニ主ナル點ヲ申上ゲマスレバ、關門鐵道ノ増強及之ニ伴ヒマス所ノ關門鐵道ヲ通りマシテ持ッテ參リマスル所ノ石炭、鉄鐵、「セメント」其ノ他ノ重要物資ト云フモノヲ輸送致シマスノニ必要ナ關係線區ノ増強デアリマス、或ハ之ニ伴ヒマス所ノ操車場ノ強化、或ハ自動信號ノ設置、増置ト云フヤウナモノガ一ツノ大キナ觀點ニナッテ居リマス、尙青函間ノ航送力ヲ強化致シマシテ、鉄鋼、製鐵、石炭其ノ他ノ「コークス」デゴザイマスルトカ、一般色々ノ重要物資ガゴザイマスガ、ソレ等ノ重要物資ヲ消費地迄持ッテ參リマス所ノ關係線區ノ増強、斯ウ云フヤウナ點ガ一ツデゴザイマス、其ノ他石炭ノ從來ノ輸送徑路ノ變更、是ハ

船舶運行航數ノ向上其ノ他種々ノ理由カラ徑路ヲ變更致シマスルトカ、或ハ大陸カラノ物資ノ移動ニ付キマシテモ、色々サウ云フ風ナ船舶ノ能率ヲ上ゲマスルトカ、色々ノ觀點カラ從來ノ輸送徑路ヲ變ヘマシテノ關係線區ノ増強及操車場ノ關係、自動信號區間ノ増加、或ハ其ノ他色々ノ引込線ト云フヤウナモノニ主力ヲ注イデ居リマス、尙車輛ノ増備ニ致シマシテハ、如何ニ致シマシテモ相當數ヲ増加致サナケレバナラス、斯ウ云フ風ナコトデ、是等ノ點ガ盛ッテアル譯デゴザイマス、唯問題ハ何ト申シマスカ海陸ノ輸送能力ヲ綜合的ニ見マシテ最高度ニ發揮致ス、尙其ノ時其ノ時ノ物資ノ生産、需給關係、及運營能力ト申シマスカ、運輸ニ依ル供給能力ノ事情、斯ウ云フモノヲ全體ヲ通ジテ睨ミ合ハスコトデゴザイマスノデ、現在戰時下ノ日本ト致シマシテハ刻々事情ガ變ッテ、正確ニ見透スト云フコトハ相當困難デゴザイマスガ、先ヅ「何ト申シマスカ、出來ルダケノ考察ヲ致シマシテ、尙且ツ現有勢力ニ對シマシテ極度ノ利用ヲ圖ル、又場合ニ依リマスレバ、戰力増強ノ爲ニハ、比較的需要ノ、何ト申シマスカ、需要度ノ低イ、國家ノ要請度ノ低イト云フヤウナモノニ付キマシテ、相當ノ壓縮ヲ加ヘルト云フ風ナコトヲ致シマシテ、其ノ時其ノ時ノ事情ニ適切ナル手段ヲ執ッテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙第二點ト致シマシテ大陸ノ諸鐵道トノ關係デゴザイマスガ、御承知ノ通りニ大陸ノ諸鐵道ニ對シマシテハ、常ニ平素カラ緊密ナ聯繫ヲ執ッテ居リマス、交通懇談會ヲ作りマシテ、各主腦者ガ一年ニ一回ハ各鐵道ノ狀況ニ付テ忌憚ナキ、腹藏ナキ意見ヲ交換シ、尙又基本的ナ計畫

ニ付キマシテ、知識ノ交換ヲ致シマスルトカ、或ハ事務的ナ方面デゴザイマス、關係者間ニ要員、資材連絡運輸ト云フ風ナモノヲ專門的ノ事柄ヲ通ジマシテ常ニ緊密ノ連絡ヲ執ッテ居リマス、尙御尋ノヤウニ最近ニ於キマシテハ是等ノ大陸ノ諸物資等ノ交流ト云フコトモ相當アリマスシ、陸運ニ轉化シナケレバナラスト云フ風ナ事情ニアリマスノデ、企畫院ヲ中心ト致シマシテ關係方面ト協力致シマス同時ニ、諸鐵道間ニ於キマシテハ從來ヨリ一層緊密ナ實施計畫ヲ樹立致シマシテ、之ガ實施ニ全力ヲ舉ゲテ居ル次第デアリマス

○男爵神山嘉瑞君 只今ノ御説明デ非常ニ詳シク拜承致シマシテ了解致シマシタノデアリマスガ、國力ノ増強ト云フ意味カラ言ッテ、非常ニ國有鐵道ト致シマシテハ熱心ナ御仕事ヲ現在續ケラレテ居ルノデアリマスガ、現在此ノ民需ト申シマスカ、國民ノ生活必需品ト云フモノガ、物ニ依ッテハ地方的ニ偏在シテ居ル傾向ガアルト云フ風ニモ考ヘルノデアリマスガ、只今ノ御説明ハ要スルニ大所高所カラ見タ國力ノ増強ト云フ見地カラ陸運ノ非常態勢ノ確立ノ方策ノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、生活必需品ト言ヘバ、少シ先程ノ問題トハ問題ガ小サク考ヘラレルカモ知レマセヌガ、矢張り民需ノ所謂生活ノ糧ト云フモノハ大キナモノデゴザイマシテ、此ノ生活必需品ガ地方的ニ偏在シテ居ル傾向ニアルト云フモノヲ、今後如何ニシテ、又現在如何ニシテ之ヲ圓滑ニ輸送ヲサレルカ、サレテ居ルカト云フコトニ付テ甚ダ恐縮デアリマスガ、モウ一度御説明ヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(堀木鐵三君) 仰セノ通り私共

ト致シマシテ、何ト申シマシテモ戰時下國民生活ノ主要生活必需品ノ輸送ト云フコトハ、先程申上ゲマシタ重要物資ニ劣ラナイ必要ナモノデアルト云フ觀點カラ、輸送ニ全力ヲ擧ゲテ居リマス、唯御察ヲ願ヘマスヤウニ、何ト申シマスカ、今ノヤウナ輸送計畫、海陸ノ綜合輸送力ヲ發揮致シマスヤウナ觀點ニ立チマシテ、而モ從來、船方何ト申シマスカ、港カラ港迄ノ輸送ニ付キマシテハ船ガ背負フテ居リマシタモノヲ、陸運ガ生産地カラ消費地迄全部致シマス云フコトニナリマス、實ハ輸送量ト致シマシテハ、從來共何レカ一度ハ鐵道ノ輸送ニハ掛ッテ居ルノガ通例デゴザイマスノデ、量ト致シマシテハ大シテ、私共ノ言葉デ言ヒマスレバ發送「ト」數ト致シマシテハ、大シタ大キナ見込ガナイノデアリマス、併シ無論是モ増産ノ進捗ニ伴ヒマシテ數量のニモ大キナモノモ相當ゴザイマス、殊ニ國內資源ノ開發ト云フ風ナ觀點カラハ、相當數量のニモ多クナリマスガ、轉化貨物ニ付キマシテハ、輸送距離ガ從來比較ニナラナイ程多クナルノデアリマス、極端ナ例デゴザイマス、ソレガ十倍以上、更ニ二十倍以上ニモ達スル物資ガアル、サウ致シマス、極ク近距離ヲ運ンデ居リマシタノガ、遠距離ニナリマス、ソレニ伴ヒマシテ車輛ノ運用效率ト申シマスカ、ソレダケ矢張り車輛モ餘計要ル、關係致シテ參リマスル所ノ線路モ相當長イモノガアリ、色々大キナ根本的ノ變革ヲシナケレバナライ、而モ先程申上ゲマシタヤウニ國ノ其ノ時ノ事情ト睨ミ合セマスノデ、サウ十分ナ設備能力ヲ以テヤルト云フコトハ出來ナイ、殊ニ支那事變以後御承知ノ通りニ既ニ倍ノ輸送量ヲ既設備ニ於キ

マシテ、大シテ大キナ設備ヲ加ヘマセヌデ、既ニ背負ッテ居ル、其ノ上ニソレ等ノモノヲ輸送シヨウ、國ノ供給力ヲ殖ヤスト云フデゴザイマスカラ、サウ餘裕ノアリ得ル筈ハナイコトハ是ハ御察シ願ヘルト思フノデアリマス、從ヒマシテ生活必需品ニ付キマシテモ、全力ヲ擧ゲテ輸送致シマスルガ、何ト申シマシテモ、其ノ限度ガ國民生活ノ最小限度ト云フモノヲ目標ニ致シマシテ、ソレ以上下コ迄輸送出來ルカ、其ノ時ノ事情ト睨ミ合セナケレバナライ譯デゴザイマス、尙重要物資トカ、生活必需品關係以外ノモノニナリマス、其ノ時ノ事情ニ依リマシテト申シマスカ、其ノ全體ノ輸送事情、國ノ生産需給事情ト睨ミ合セマスノデ、十八年度ニ於キマシテハ從來ヨリ相當何ト申シマスカ、廻セナイ、所謂輸送力ガソテラノ方ニ割愛出來ナイト云フ風ナ事情ガ出來テ參ルト思ヒマス、從ヒマシテ幾分其ノ點ニ付テハ全體ノ國民トシテ御覺悟ヲ願ハナケレバナライ、從ッテ何ト申シマスカ、一部ニ物資ガ偏在スルト云フ場合モ時ニ起リ得ル、又所ニ依ッテ起リ得ル、斯ウ云フコトハ已ムヲ得ザルコトカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵神山嘉瑞君 只今ノ說明デ十分納得致スノデアリマスガ、要スルニ私ノ御尋ネシマシタ動機ガ、一ツノ私設鐵道ノ買收ニ關聯シマシテ陸運非常態勢ノ方ニ入ッテ譯デアリマスガ、先程私鐵ノ買收ノ價格ノ問題ガ出タノデアリマスガ、私ト致シマシテ參考迄ニ教ヘテ戴キタイト思フ點ガアリマスノデ、一二點質問サシテ戴クコトヲ御許リ願ヒタイト思フノデアリマス、先程大臣ノ御説明ニアリマシタ、價格ノ算定ノ基礎ト云フモノハ地方鐵道法ニ依ル、所謂一定ノ原則ニ依ッテ買收價格ヲ決定サレルト云フ御説明ガアリマシテ、其ノ點十分了承致シタ次第デアリマスガ、私ノ御伺ヒシタイト申シマス點ハ、此ノ法規ニ基ク價格ノ算定ノ基礎ト云フモノガ、私鐵會社ノ收益ニ根據ヲ置クト云フコトデアルト云フコトハ、此ノ規定カラ伺ハレルノデアリマス、就キマシテ此ノ私設會社ノ、私鐵鐵道ノ使命ト申シマスカ、矢張り量ハ一ツノ公益事業デアルノデアリマシテ、其ノ點カラ考ヘマスルト、收益ト云フコトヨリモ、寧ロ色々設備トカ、サウ云ツタ收益率ヲ離レタ點ニ重點ガアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、從ッテ此ノ價格ノ算定ト云フコトニ付キマシテハ、私ハ何モ知ラナイカラ御伺ヒスルノデアリマスルガ、物ニハ見様ニ依ッテハ、是ハ一級品デアルトカ、二級品デアルトカ云フヤウニ、價格上ニハ評價シ得ナイモノデモ、多少ソコニ見當ノ付ク場合ガ物ニ依ッテハアルト思フノデアリマス、サウ云ツタ工合デ、同ジ私鐵會社ガ多クゴザイマセウガ、ソレヲ見マシテ矢張り價格ノ算定ノ基礎ト云フモノハ、單ナル法規的、帳簿上ニ現レタ收益ト云フコト以外ニ、何カ何ト申シマスルカ、施設ガ良イトカ惡イトカト云フヤウナ點、詰リ收益本位デ考ヘナイデ、其處ニ特別ニ技術上カラ見タ優良點ヲ加味シテ算定サレルモノデアリマセウカドウカト云フヤウナ點デアリマス

○國務大臣(八田嘉明君) 只今ノ買收價格算定ニ關スルコトハ、大體私共モ今御話ノヤウナ感じヲ持ッテ居リマス、私カラ改メテ御説明申上ゲル迄モナク、能ク御承知ノ通りデアリマスガ、要スルニ法文ノ上デハ、如何ニモ利益率本位ノヤウニ見エテ居リマスガ、要スルニ建設費ト云フコトハ、法文ノ立案ノ氣持トシテハ、其ノ中ニ矢張り建設費ト云フモノハ重要ナ要素トシテ考ヘラレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、デアリマスルカラ、其ノ建設費以內デ買ツカ、以上デ買ツカト云フ點ガマア問題ニナル、以內デ買ツカト云フ場合ニ於キマシテモ、益金ガ或率ニ達シナイ場合ハ建設費以內、マア建設費ヲ目標ニ致シテ居リマス、又益金ノ率ガ高イ場合ニハ、建設費以上ニ於テ、詰リ買ツ其ノ率ガ收益率ニ依ッテ、換算シテ參リマスカラ、當然建設費以上ニナル、其ノ裏ニハ建設費ト云フモノガ、矢張り一ツノ標準線ニナツテ、上下ガ考ヘラレテ居リマスガ、扱デ如何ニモ御話ノ如ク現レテ居ル面カラ見マスルト、表現ノ仕方ガ收益本位ニ流レテ居ルヤウニ、私共實ハ是デ宜イノカ知ラスト考ヘタヤウナコトモアルヤウナ譯デアリマス、ソコデ併シサウデアリマスガ、考ヘ方トシテハ、矢張り建設費ト云フモノガ重要ナ點デアルト云フノデ、今回モ買收價格其ノモノハ一億圓ニナリマスガ、或ハソレヲ切リマスガ、或ハモット多クナルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、御承知ノ通り、十八年度ニ於テ、此ノ買收ニ著手スル、手ヲ染メマス時カラ決定サレル譯デアリマスガ、要スルニ建設費一千萬圓ト云フモノヲ御示シ致シマシテハ、大體ノ見當ヲ付ケテ居ルト云フヤウナ點カラ申シマシテモ、鐵道省ノ當局ノ考ヘ方ト致シマシテハ、建設費ト、從ッテ建設費ノ内容ガ無論規定ニ依リマシテ、補修トカ、或ハ償却ノ度トカ云フモノヲ十分修正致シテ居ル譯デアリマスガ、今ノ御尋ノ重點ニナツテ居リマス

ル、同ジヤウナ建設費ガ掛ッテモ其ノモノ
ガ他ノモノニ比シテ、優等ナル建設ガサレ
テ居ルカ、或ハ劣等ナル建設ガサレテ居ル
カト云フ點ハ、私ハ大切ナ點ダト思ヒマス、
唯ソレガ如何ニモ益金ト云フコトガ表ヘ立ッ
テシマフ爲ニ、影ガ薄クナッテ居ル譯デア
リマスガ、少クトモ建設費以上ニナリマス
場合ニハ、益金ト云フモノガ大體算定ノ根
本ニナリマス、主トシテ問題ハ今ノヤウ
ナ御尋ノ點ハ、建設費以下、益金ノ計算カ
ラ言フト、買收價格ガ建設費以下ニナル場合
ノ問題ガ一番痛切ナ問題デアルト考ヘマス
ノデ、此ノ點ニ付キマシテハ只今申述ベマ
シタヤウナ考ヘ方カラ致シテ、鐵道省トシ
テハ許サレル範圍内ニ於キマシテ、十分其
ノ點モ考慮シナケレバナラヌト考ヘテ居ル
ヤウナ次第デ、具體的ニ今ドウ云フ風ニヤ
ルカト云フ點ハ、私カラ申上ゲマセヌガ、
大體サウ云フ御話ノ通りノ氣持ヲ持ッテ居
ルト云フコトダケヲ、只今申上ゲタヤウナ
法文ノ成立チカラ考ヘマシテ、又實際ノ運
用ニ於キマシテモ、サウ云フ風ニ考ヘテ居
ルト云フコトダケヲ申上ゲマス

○男爵神山嘉瑞君 色々御教示ニ與リマシ
テ有難ウゴザイマシタ、私ノ質問ハ是デ打
切リマス

○男爵飯田精太郎君 一言御伺ヒシタイノ
デスガ、先程カラ色々御説明ヲ伺ヒマシテ、
今回ノ私設鐵道ノ買收ハ、戰時下ノ陸運非
常態勢ヲ完備スル上ニ於テ、是非必要ダト
云フ點ハ能ク了承シタノデアリマス、仰セ
ノヤウナ理由デ買收ナサルト云フコトニナ
リマス、マダ是以外ニモ澤山ノニ準ズル
ヤウナ線ガアルヤウニ思フノデアリマス、
先程大臣ノ御説明ニモ廣ク買收シタカッタ

ガ、色々ナ事情デ出來ナカッタト云フヤウナ
御話モアッタノデアリマス、御尤モナコトダ
ト思フノデアリマス、此ノ鐵道ノ運輸ノ點
カラ申シマス、先程監理局長ノ御話ニモア
リマシタヤウニ、出來ルダケ之ヲ一元のニ、
綜合一元のノ運營ヲスルト云フコトガ、最
モ全力ヲ發揮サセルノニ有效ナ方法ダト云
フコトハ、モウ議論ノ餘地ガナイコトデア
リマス、如何ナル鐵道デモ戰爭ニ全然關係
ノナイト思ハレルヤウナ鐵道ハナイノデア
リマス、出來レバ全部ノ地方鐵道軌道ト一
緒ニ國ガ總メテ運營スルト云フコトガ、最
モ能率ヲ上ゲル點ニ於テ必要ダト云フコト
ハ、誰モガ認メテ居ルノデアリマスカラ、
只今ノ御説明ニモアリマシタヤウニ、公債
ノ發行限度其ノ他色々ナ事情デ制約サレ
テ、此ノ程度以上ニ買收ガ出來タト云フコ
トハ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマスガ、併
シ出來ルダケ廣ク綜合一元のニ運營スルト
云フ目的ヲ達スル爲ニハ、強ヒテ之ヲ全部
買收シナクトモ、色々外ニ方法ガアルヂヤ
ナイカ、買收ト云フコトガ最モ根本的ニ解
決スル有效ナ方法デアリマセウガ、其ノ以
外ニモ色々ナ方法ニ依ッテ一元のニ綜合運
營スルト云フコトハ、考ヘラレル所デア
ルガ故ニ、國家ノ存亡ヲ懸ケタヤウナ非常ニ
大事ナ時期デアリマスカラ、現在アリマ
ス國內ノ運輸機關ト云フモノハ、出來ルダ
ケ全力ヲ擧ゲテ能率ヲ良ク運營スルト云フ
コトガ最モ大事ナコトデア
ル、其ノ點カラ
申シマス、買收程徹底シマセヌデモ、其
ノ他ノ方法ニ依ッテ何カ國ガ一元のニ之ヲ
綜合運營スルト云フヤウナコトヲナサタラ
ドウカト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス
ガ、大臣トシテ何カ其ノ點ニ付テ御考ガア

リマシタラ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(八田嘉明君) 只今ノ御尋ノ點
竝ニ御意見ノ點ハ、實ハ私共モ全く御同様
ニ考ヘテ居リマス、實ハ先程政府委員ヨリ
買收ノ方針等ニ對シテ一應御答ヘ申上ゲタ
ノデアリマスガ、只今モ御話ノアリマシタ
通り、鐵道省トシテ考ヘ方ハ、許ス範圍
ニ於テハ、之ヲ敢テ戰時ト云フ譯デナク平
生ニ於キマシテモ、大體國有ニ編入シテ行
クコトヲ實ハ原則トシテ考ヘテ居ル譯デア
リマス、即チ我が國ノ鐵道ハ國有鐵道法ノ
示ス所ニ依リマシテ、帝國ノ鐵道ハ國ノ所
有トスル、但シ一地方ノ交通ヲ目的トスル
モノハ此ノ限りニ在ラズ、言ヒ換ヘレバ、
一般交通ノ用ニ供スルモノハ所謂國有トシ
テ行クト云フノガ原則デア
ル、但シ一地方
ノ交通ヲ目的トスルモノハ此ノ限りニ在ラ
ズト云フ風ニ國有法ガ定メテ居リマス、其
ノ考ヘ方ニ依リマシテ、一般ノ交通ノ用ニ
供スル資格ノアルモノハ、出來得レバ之ヲ
國有ニ編入シテ行ク、詰リ地方鐵道トシテ
生レ出タモノデアリマシテモ、其ノ後ノ發
達ニ依リ、又其ノ時々ノ實情ニ即シテ、國
有トシテ編入スルコトガ望マシイモノハ之
ヲ國有トシテ編入シテ行クト云フ考ヲ原則
的ニ持ッテ居ル譯デアリマス、ソレ故ニ過去
ニ於キマシテモ、段々ト他ノ條件ガ許ス場
合ニ於キマシテハ、國鐵ニ地方鐵道ヲ編入
シテ參ッテ居ル譯デアリマス、此ノ考ヘ方ハ
戰時ニ於テモ變リハナイノデアリマスガ、
併シナガラソレヨリモモット大事ナコトハ、今
御話ノアリマシタヤウニ、ソレガ官營デア
ラウガ民營デアラウガ、經營ノ形ハドウア
ラウトモ、我が國ノ鐵道トシテハ同ジコト
デア
ルガ故ニ、先ツ之ヲ一元のニ綜合運營

スルコトニ力ヲ入レルコトガ何ヨリモ大切
デア
ル、殊ニ戰時ニ於テハ其ノコトガ最モ
大切デア
ルト云フ御意見ハ、全く其ノ通り
ト考ヘテ居リマス、而シテ先程説明ノアリ
マシタヤウニ、陸運ヘノ海運ノ轉移ト云フ
コトノ非常事態ヲ契機ト致シマシテ、國有
鐵道ノ運營、ソレカラ地方鐵道、軌道、自
動車等、悉ク苟モ陸上輸送機關ニ關スル限
リハ、之ヲ綜合的ニ、現在持ッテ居ル所ノ施設
ノ力ヲ總動員シテ、全國的ニ戰時ノ輸送力ヲ
發揮スルト云フ體制ヲ執ク譯デアリマス、デ
アリマスカラ、此ノ點ニ於キマシテハ御話ノ
如ク十分ニ官私ノ區別ナク發揚シテ參ルト
云フコトハ、何處迄モ力ヲ入レナケレバナ
ラズ、又入レル考ヲ持ッテ居リマス、其ノ上ニ、
サウ云フ立場ノ上ニ於テ、尙事情ガ許スナラ
バ、斯クノ鐵道ハ成ルベク早キ時期ニ於
テ國有鐵道ニ編入ヲシタイト云フモノハ大體
原案ヲ持ッテ居リマス、其ノ原案ノ中デ先ツ順
序的ニ考ヘテ、今回時局ノ要請ト睨ミ合セマ
シテ十二本ノ鐵道ヲ買收スルト云フコトニ致シ
タノデアリマス、デアリマスカラ、其ノ十二本ノ
鐵道ハ非常ニ時局色ノ濃厚ナモノノミガ實ハ
舉ッテ居ルノデアリマシテ、其ノ以外ニモ
實ハ之ニ準ズルモノガ數本アルノデア
リマスガ、今回買收ニ要スル公債ノ總額及
ビソレノ經濟界ニ對スル影響ト云フヤウナ
コトヲモ一方ニ考ヘテ、或所デ公債ノ總額
ヲ打切ッテ爲ニ、此ノ以外ノモノガ取殘サ
レタト云フ憾ハアルノデアリマスガ、此ノ
十二本ノ鐵道ハ時局的ニ最モ必要デア
ッテ、國鐵ニ編入スル方ガヨリ良キ非常態勢
ノ效果ヲ發揮シ得ルト云フ觀點カラ之ヲ立
案致シタヤウナ次第デアリマス、先程政府
委員ヨリ御説明申上ゲマシタヤウニ、此ノ

十二本ノ中ヲ分類致シマスルト、其ノ三分ノ一ガ臨港鐵道デアリマス、ソレカラ三分ノ一ガ石炭地方ノ主トシテ石炭專用ノ路線デアリマス、ソレカラ残りノ三分ノ一ガ系路上ノ必要ト云フ立場カラ生レテ居ルノデ、何レモ時局色ノ最モ濃厚ナモノデアアルコトハ既ニ提案ノ理由ニ申述ベタヤウナ次第デアリマスカラ、其ノ點ハ御了解下サツテ居ルコト存ズルノデアリマスガ、然ラバ其ノ買收ダケニ頼ッテ、買收ヲシナイ鐵道等ニ付テハ綜合力ヲ發揮シテ力ヲ入レナイカト云フコトニナリマス、ソレハ繰返シテ申上ゲマスガ、十分ニ其ノ儘ノ形ニ於テ有無相通ジ、官私協力態勢ヲ整ヘテ參ル爲ニ十分ノ施策ヲ講ジテ居リマス、ソレハ御承知ノヤウニ鐵道統制會ノ設立ニ依リマシテ、サウシテ政府ノ權限ヲ出來ルダケ既ニ委讓致シマシテ、先ヅ私設鐵道相互ノ緊密ナル連繫ヲ持チ、ソレト國有鐵道トガ更ニ過去ヨリモ一層緊密ナル連繫ヲ執ツテ行ク、斯ウ云フ態勢ヲ整ヘル、尙又必要ニ應ジマシテハ陸運統制令ノ發動ニ依リマシテ緊急ノ場合ニモ應ズルヤウニ、有ラユル措置ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、要スルニ只今御話ノ點ハ十分ニ同ジ考ヲ以テマシテ、此ノ買收ニ付キマシテモ或ハ買收以外ノ鐵道ニ付キマシテモ、御趣旨ノ點ハ十分敬承致シテ過チナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 只今ノ御説明デ、大臣ノ大體ノ御考ハ分リマシタ、唯現在ノ機構デ、統制會ヲ活用シテ出來ルダケヤルト云フ御話デアリマスガ、ドウモ現在ノ儘デ、現在ノ統制會ノ程度デアリマシテハ、到底買收シテ國有鐵道ニ一緒ニサレタト云フノト同ジ效果ハ舉ラナイト思ヒマス、斯ウ云フ非常ナ時局デアリマスカラ、買收シタト同ジ效果ガ舉ルヤウナ、モウ少シ強力ナ一元ノ運營、具體的ニ申シマスレバ、私設鐵道ヲ國ガ借上ゲテ之ヲ經營スル、色々サウ云フ一元的ニ買收ト同ジ形ニシテ、之ヲ運營スルト云フ所迄持ッテ行キマセスト、十分ナ效果ガ舉ラヌノデヤナイカト思フノデアリマス、斯ク地方鐵道ガバラノニナッテ居リマスルト、其ノ間ニ車輛ノ相互ノ融通ダトカ、或ハ修繕設備ノ共同使用ダトカ、或ハ運賃ノ關係デ、省線ノ方ニ旅客、貨物ガ非常ニ難否シテ居ルニ拘ラズ、私設鐵道ハ非常ニ閑散ニナッテ居ルト云フヤウナ現狀デアリマスガ、之ヲ打破シマスルノニハ、ドウシテモ一元的ニ之ヲ綜合運營ヲヤラナケレバ目的ハ達セラレナイノデヤナイカ、統制會ヲ非常ニ強力化サレテ、國ガ買收シタト同ジヤウナ運營方法ガ出來レバ宜イノデアリマスガ、只今ノ程度デハチョットソコ迄ハムヅカシイノデヤナイカト云フヤウナ風ニ考ヘラレマス、特ニ斯ウ云フ非常時局下デアリマスカラ、思ヒ切ツタ運營方法ヲ御考ニナル必要ガアルノデヤナイカト云フノデ御尋ネシタノデアリマス

○國務大臣(八田嘉明君) 御趣旨ハ能ク分ッテ居リマス、要スルニ必要アリマスレバ陸運ノ統制令ヲ發動致シマスレバ、其ノ儘ニ置キマシテ政府ノ意ノ儘ニ運用スルコトハ出來ル譯デアリマス、デアリマスカラ其ノ用意ハ先程申上ゲマシタヤウニ持ッテ居ルノデアリマスガ、是ハ必要ニ應ジテサウ云フ發動ヲシナケレバナラヌ場合モ豫想セラレルノデアリマス、唯是ガ御承知ノ通り鐵道ナルモノガ、其ノ時ノ時代ノ要求、要請ガ全面的ニ起ルカ、或ハ或方面ニ向ッテ局部的ニ起ルカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、豫メ考ハアリマスケレドモ、寧ロ全面的ニ起ルヨリモ、或一方面ニ向ッテ局部的ニ起ルト云フコトガ大體私共ノ豫想シテ居ル所ナデアリマシテ、從ヒマシテ一朝必要ガアリマス時ニハ、國鐵デアラウガ、國鐵デナカラウガ、所謂帝國ノ鐵道ヲ直チニ政府ノ意ノ儘ニ動かスコトノ出來ル用意ハ出來テ居リマス、諸ソレデヤ豫メ全體ノモノヲサウシテ置クカ、或ハ局部的ノ鐵道ヲサウシテ置クカト云フコトハ、私共ノ考トシテハ其ノ非常時ノ非常ノ要請ノ度ニ從ッテ、直チニ出來ル態勢ヲ整ヘテ置クト云フ意味デ先程申上ゲタ譯デアリマス、平常ニ於テ或ハ借入レルトカ云フヤウナコトハ、今ノ御話ノ、御尋ノ要點デハナイト考ヘマシテ申上ゲテナイノデアリマス、詰リ非常態勢ニ於テハ其ノ管理スルコトハ、詰リ陸運統制令ニ於テ管理スルコト云フヤウナコトハモウ出來テ居ル譯デアリマスカラ、必要ノ時ニ於テドノ地域ノドウ云フ線路ヲドウ云フヤウナ程度ニ於テ管理スルカト云フヤウナコトハ十分ニ用意ガアルト申上ゲテ宜シイト思ヒマス、全體ヲ管理スルカ、或ハ戰時的ノ狀態ニ置クカト云フコトニ付キマシテハ、今私共ハ考ヘテ居ラナイト云フコトヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、ソコデソレデヤサウ言フカラト云ツテ、サウ云フヤウナ必要ナモノハ買收スルノカ、斯ウ云フト、斯ウ言ハレマスナラバ、今回ノ買收ハ全體ノ官私鐵道ノ綜合力ヲ陸運非常態勢ニ依ッテ整ヘテ行クノデアリマスガ、其ノ中デ軍事上、或ハ臨港線及炭坑地方ノ資源開發線等ハ、是ダケノ幾ツカノモノガ先ヅ國鐵ニ買收シテ置ク方ガ

望マシイコトデアルト云フコトデ買收ノ案ヲ立テタト、併シソレデヤ非常時ニ對スル態勢ハ、一應ハ此ノ陸運非常態勢ヲ整ヘテハ居リマスガ、今御話ノ如ク鐵道統制會ニ致シマシテモ、權限ハ委讓ヲ致シタト云ツテモ、決シテ是ダケデ足りナイコトハ今ノ御話ノ通りデアリマス、從ヒマシテモ一段此ノ強力ナ管理ト云フコトニ付キマシテハ、管理會ヲ發動シナケレバナラヌ場合ガ起ルコトヲ私共ハ豫想シテ、十分ナルニ對スル用意ヲ整ヘテ置クト云フコトハ御話ノ通り、是非強力ニ考ヘテ行カナケレバナラスコト考ヘテ居リマス、御說ノ、又御尋ノ點モ能ク了承致シテ敬承致シテ居ル次第デアリマス

○竹内可吉君 今ノ問題ニ關聯シテ、政府委員ノ方ニ一ツ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス、飯田委員ノ只今ノ御質問ハ、私共モ實ハ同ジヤウナ疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、此ノ際陸運ノ綜合的運營ヲスルト云フ上カラ言ヘバ、色々ナ統制法規ガアリマスケレドモ、國ガ之ヲ現實ニ、之ヲ一元的ニ運營スルト云フ方ガ今日ノ時局ノ要請ニ適フコトハ、是ハ申ス迄モナイコトデアリ、又御認ニナッテ居ルコトト思フノデアリマスガ、先程御答辯ノ中ニモアリマシタ、必要ヲ感ジテ居ルモノハ他ニモアルケレドモ、公債發行額ノ制限ヲ受ケテ居ル云々ト云フコトデ、是モ非常ニ御尤モデアリマス、併シ問題ハ、飯田委員ノ御尋ニナツタ其ノ外ノ方法デ、詰リ具體的ナ例ヲ言ハレマシタ通り、政府ガ之ヲ借上ゲテヤルト、斯ウ云フヤウナコトハ是ハ誰シモ考ヘラレルコトデハナイカト思ヒマス、大臣ノ御氣持ハ能ク分リマシタカラ、技術的ノ問題トシテ、ソレデハ

矢張り工合ノ惡イ點ガアルノデアリマセウカ、構成上カラ、或ハ經營上カラ、或ハ技術上ノ點カラ、之ハ極ク簡單ナコトデアリマス。簡單デ宜シウゴザイマスガ、少シ専門ノ問題デアリマスカラ政府委員ノ方カラ一ツ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤榮作君) 先程カラ御話ヲ伺ヒマシテ、私共モ誠ニ結構ナ御話ノヤウニ伺ッテ居ルノデアリマス、具體的ナ地方鐵道ノ借上ゲ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク過去ニ於キマシテ二三ノ鐵道ニ付テ借上ゲヲ實施シタ例ガアルノデゴザイマス、是デ因リマス。借上ゲヲ致シマスフコトカト申シマス、借上ゲヲ致シマスト財產ハ元ノ會社ニ其ノ儘殘ッテ居ルノデゴザイマス、輸送量ガ段々殖エテ來ル、或ハ大キナ機關車ヲ通ス、斯ウ云フヤウナコトヲ致シマス爲ニハ設備ヲ或程度改善シテ行カナケレバナラナイゾデアリマスガ、他人ノ財產ニ對シテノ改良工事ハ、契約ノ上デハ或程度ノ取極ヲ爲シ得ル譯デゴザイマスガ、實際問題トシテハナカク困難ナ狀態ニアルノデゴザイマス、例ヘバ會社自身ニ改良ノ要求ヲ致シマシタ場合ニ於キマシテハ、會社自身ハ營業シテ居ラナイノデアリマス。カラ、資金ノ調達上ナカク困難ナヤウデゴザイマス、又借上ゲテ居ル國自身デ施設ヲ致シマス、借上契約満了ノ曉ニ於キマシテ、其ノ財產ノ歸屬ヲ如何ニスルカ、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ色々問題ガアルヤウニ考ヘルノデアリマス、モウ一ツハ借上鐵道ハ借上ガ直接ノ目的デアリマスガ、借上契約満了ノ曉ト申シマスガ、相當ノ期間ガ經テ曉ニ於キマシテ元ノ會社ニ返スト云フコトハ餘リ考ヘラレナイノデアリマ

ス、結局買收スルト云フコトニナル譯ダラウト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ於キマシテハ運輸數量ノ増加、所謂自然増ト云フモノガ普通ニアル譯デゴザイマシテ、ソレヲ買收價格ニ見込ムト云フコトハ非常ニ困難ナ問題ノヤウニ思フノデアリマス、從ヒマシテ過去ニ於キマシテ二借上ゲヲ致シマシタ例ハアルノデゴザイマスガ、國ガ經營シテ一元的ナ運營ヲスルニハ、ドウモ買收スルノガ一番徹底シテ居ル、從ヒマシテ議會其ノ他ノ協賛ヲ得ルコトガ出來マスナラバ、先ヅ買收ノ方法ニ依ッテ、サウシテ借上ゲト云フ方法ハ萬已ムヲ得ナイ場合ニ於テハ、是ハ先程カラ大臣ガ説明致シテ居リマス如ク、臨機ノ措置ト致シマシテ、陸軍統制令ノ發動ニ依ッテ或ハ借上ゲナリ、或ハ管理ナリト云フヤウナコトモシテ行ケバ宜イノデヤナイカ、從ヒマシテ平常又基本的ナ措置トシテハ買收シテ行ク、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙實際ノ日常ノ運輸ニ付キマシテハ、鐵道省自身ハ車輛ノ運輸ニ於キマシテモ、協同的ニ單一ノ計畫化ニ於テノ輸送計畫ヲ樹立シテ居リマス、從ヒマシテ省ノ車ガ社線ニモ入ッテ居リマスシ、社ノ車ガ省線ニモ入ッテ來ル、或ハ車輛ノ修理ニ付キマシテモ、省ノ工場ヲ會社ノモノヲシテ利用サシテ居ル、或ハ又新製車輛ノ割當等ニ於キマシテモ、省線ヲ通ジテ色々計畫ヲ樹テ居ル、大體ニ於テ綜合的機能ノ發揮ニ萬遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デアリマス、今申上ゲルヤウニ更ニソレヲ徹底サセマシテ、施設其ノ他ノ規格ノ向上下カ、或ハ省並ノモノニスル、サウシテ本當ニ運營ノ趣旨ヲ末端迄徹底サレテ行

ク、ソレニハ先ヅ買收ヲ一番ニ考ヘテ行ク、斯様ナコトニナルト思ヒマス

○男爵飯田精太郎君 別ナ問題デアリマシテ、最近殊ニ軍需工業工場ノ出來マス地帯ニ對シテ、鐵道ノ輸送ガ非常ニ混亂ヲ起シテ居ル所ガ多イノデアリマス、ドウモ見テ居リマス。各工場ガ續々沿線ニ出來ルニ拘ラズ、輸送ノ方ノ増強ト云フコトガ一向後廻ニナツテ居ッテ、愈々工場ガ出來テカラ急ニ何千何萬ト云フ工員ガ通勤スル、又資材ヲ運バナケレバナラヌト云フヤウナコトガ起ッテ、其ノ爲ニ折角出來タ生産擴充ノ工場ガ、十分其ノ能率ヲ舉ゲルコトガ出來ナイデ居ルモノモ多アルヤウニ思ハレル、斯ウ云フコトハ工場ヲ作ル際ニ輸送ノ設備モ同時ニ出來上ルヤウニヤッテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、ドウモソコラノ連絡ガウマク行ッテ居ラヌ結果、斯ウ云フコトニナツテ居ルデヤナイカトモ思フノデアリマスガ、最近何カ其ノ方面ニ對シテ特殊ナ連絡方法ヲ御取リニナツテ居ルノデセウカ

○國務大臣(八田嘉明君) 此ノ點ハ實ハ鐵道省デモ非常ニ困難ヲ致シテ居ル點デアリマスガ、昨年アタリ迄ハ御話ノ如ク、輸送方面デ工場ガ新設サレルト云フコトニ對スル計畫ヲ知ラナイ譯デ、是ハ知ラナイデヤルコトガ、最モ工場ヲ急速ニ建テテ行クト云フ方面ノ立場カラ言ウト一番宜イノデセウト思ヒマス、併シナガラ工場ガ出來タ、直グニ何千ト云フ工員ガ俄ニ其處ニ現レ出テ行ッテ、輸送ハ其ノ用意ガナイト云フノデハ、結局其ノ工場ガ能率ガ擧ガラナイト云フコトニナリマス。實ハ昨年關係方面等ニ話ヲ致シマシテ、サウシテ豫メ御相談ヲ受ケ

ルト云フコトニ致シマシテ、大體ノ輸送上ノ計畫ヲモ當初カラ、樹テテ行クト云フ風ナ考ヘ方デ了解ヲ得テ居ル譯デアリマス、從ヒマシテ今後ニ於テハ餘程其ノ點ハ豫メ準備ガ出來ルト思ヒマス、併シ尙且實ハサウ云フ風ニ致シマシテモ、宿舍ガ十分ニナイトカ、或ハ輸送器材ガ十分デナイト云フヤウナ關係カラ、事實ノ上ニ於テハナカナカウマク輸送ガ出來ルカドウカ、混雜ナシニ行クカドウカト云フコトニ付テハ、實ハ心配シテ居ル點デアリマス、併シ少クモ豫メ内談ヲ受ケルト云フコトダケハ用意ガ出來タ答デアリマス

○子爵秋田重季君 先程一委員ノ御質問ニ大臣ノ御答辯ガアリマシタ中ニ、買收サレル會社ガ、其ノ會社ヲ繼續シテヤッテ行ク場合ト云フコトノ御話ガアリマシタガ、今度買收サレル會社サウ云フ風ナ唯單ニ鐵道ノミノ經營ヲヤッテ居ル會社ト致シマスレバ、解散ヲシナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、他ニ事業ヲヤッテ居ルトスレバ存續セラレルモノト思フノデアリマスガ、今度ノ十二ノ鐵道會社デ存續サレルヤウナ會社ガドレ位アルノデアリマスガ、其ノ點ヲ政府委員カラデモドウゾ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(佐藤榮作君) 會社ガ存續致シマス。ト云フ場合ガ色々アル譯デゴザイマス、先程大臣ノ御話デ更ニ私カラ敷衍スルコトハ別ニナイノデアリマスガ、御承知ノ如ク兼業等ヲヤッテ居リマス場合ニ於キマシテ、買收ノ差益ト云フモノニ付テノ特別ナ處置ガ講ゼラレマスナラバ、其ノ會社必ズシモ解散ヲ希望シナイ、其ノ儘存續シテ行ク、斯ウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、

モウ一ツハ今日アリマス會社ノ大株主ニ法人等ガアリマシタヤウナ場合ニ於キマシテ、相當ノ買收ノ差益ヲ得テ會社ガ解散スルト云フヤウナコトガアリマスレバ、此ノ株主ニ對スル影響モ非常ニ大キイノデアリマス、其ノ點カラモ放任シテ置キマスト必ズシモ解散ヲ希望シテ居ナイ、斯ウ云フヤウナモノモアル譯デアリマス、今回ノ處置ト致シマシテ私共考ヘマスコトハ、今ノヤウナ點モ考慮ニ入レマシテ、必ズシモ會社ガ殘ルト云フコトガ株主其ノ他ニ非常ニ迷惑デア

ラ宜イノデハナイカ、マア斯様ナ見透シヲシテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○子爵秋田重季君 サウ致シマス、存續スルカ存續シナイカト云フヤウナ問題ハ、買收ノ價格ニ應ジテ適當ニ會社ガ考ヘルノダ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマ

ルガ、其ノ點ヲモウ一度一ツ……

○政府委員(佐藤榮作君) 先程マア會社ガ存續スル方ガ有利ダ、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテノ説明ヲ非常ニ簡單ニ申上ゲマシタ

ガ、御承知ノ如ク近時此ノ稅ノ關係デ、所得稅、或ハ臨時利得稅、其ノ他營業稅等、相當稅ノ稅額ト云フモノヲ會社ノ方デハ念頭ニ置ク譯デゴザイマス、先程申シマシタ如ク、今回ノ買收ニ際シマシテ相當ノ差益ガ出タ、サウシテ大株主デアル法人ガ其ノ差益ノ分ケ前ヲ貰フ譯デ會社ガ解散シタトシマスルト、其ノ法人ノ方ノ全所得ニ其ノ利益

ガ加ッテ行キマス爲ニ、株主デアル法人ハ相當稅ノ負擔ニ堪ヘナイ、斯ウ云フヤウナコトガ一ツアル譯デゴザイマス、ソレカラモウ一ツハ會社ガ存續致シマシタ場合ニ於キマシテ、配電統合ノ際ニ執リマシタ如ク張簿價格其ノモノノ記帳ヲ認メル、斯ウ云フヤウナ處置ヲ執ラレマスレバ、會社トシテ別ニ此ノ際ニ臨時利得稅ヲ支拂ハナクテモ濟ム、斯ウ云フヤウナコトモアル譯デアリマス、サウ云フヤウナ特別ノ措置ヲ講ジテ貰フコトニ依ッテ他ノ營業ヲヤッテ行ク、サウシテ其ノ場合ニ於キマシテハ先程光行委員カラ御質問ガアリマシタ如ク、公債ノ利率ハ三分五厘デアリマスノデ、必ズシモ從前ノ八分トカ九分トカ云フ高配ハ出來ナイノデゴザイマスガ、記帳價格デ一應財產ヲ留メ置キマスカラ、每期一割程度ノ利益ヲ帳

簿價格ノ方カラ引出シテ來ルコトニ依ッテハ、或程度ノ配當モ維持出來テ、而モ利得稅等ヲ支拂ハナクテモ其ノ儘ヤッテ行ケル、斯ウ云フヤウナ方法ガ執レルヤウデゴザイマス、サウ云フヤウナ法規上ノ爲シ得ル處置等ヲ考ヘテ見マシテ、一方德國策ノ「インフレーション」防止ト云フコトニモ協力ヲシ、又株主並ニ會社自身トシテモ存續ヲ希望シテ居ル、斯ウ云フヤウナ點ガ考ヘラレルノデアリマス

○子爵秋田重季君 其ノ點ハ大體了承致シマシタガ、此ノ參考書ノコトニ付テチヨット一點ダケ御伺ヒ致シタイと思ヒマス、鶴見臨港鐵道線路ノ買收デアリマスガ、現在線路ガ完成シテ運轉ヲヤッテ居リマスル所ハ無論買收サレルノデアリマスガ、ソレ以外ニ免許線ガアルノデアリマスガ、免許線モ同時ニ買收スルト云フヤウナコトニナリマスルト云フト、免許線ニ對シテハ鐵道省トシテハ如何ナル處置ヲ執ラレルノデアリマスカ、ドウモ私共ニハ其ノ點不案内デアリマスカラチヨット御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス

○政府委員(佐藤榮作君) 今回買收致シマスノハ營業線ヲ買收スルノデゴザイマシテ、鶴見臨港ノ場合ニ於キマシテモ鶴見カラ屬町ニ至ル開業線ヲ買收シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ鶴見、鶴見終點間ト云フ工事施行線ガ極ク僅カアリマス、ソレ以外ニ今御話ノ如キ免許線ガアル譯デアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ會社ガ存續スルト假定致シマスナラバ、營業線ノ部分ダケヲ省ガ買收致シマシテ、免許線ニ工事施行線ガ會社ト下ニ殘ルカト考ヘマス、會社ガ解散致シマスト致シマスレ

バ、是等ノ點ハ當然失效シテ參ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 多獅島鐵道ノコトデチヨット御伺ヒシタイと思ヒマス、昨日御説明ノアリマシタ多獅島鐵道ノ、將來此ノ多獅島ノ港灣ガ出來マスルト、分岐線ニナッテ居リマス部分モ當然是ハ買收サレルコトニナルト思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ今回ノヲ一緒ニ御買上ゲナサラズニ一部分買收スルト云フコトニナッタノデスカ、評價其ノ他面倒ガ多イト思ヒマス、殊ニ後ニ殘ツタ殘存ノ線路ノ經營ナゾモ相當ニ苦シクナルノデヤナイカト考ヘル、特ニ分ケテ御買ヒニナル理由ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 御説明申上ゲマス、御質問ノヤウニ此ノ多獅島鐵道全部一括シテ買收スルト云フコトモ考ヘ得ラレルノデアリマスルガ、今回ノ買收ノ目的ハ新義州、京城間ノ複線工事ヲ完成セシムル爲ニ、此ノ私設鐵道ヲ利用スルト云フコトガ買收ノ重要目的ニ相成ツテ居リマス、サウ致シマスルト圖面ノ此ノ楊市カラ多獅島港迄ハ、其ノ意味ニ於キマシテ關聯ノナイコトニナリマス、從ッテ國カラ見マスと云フト此ノ新義州、南市間ノ買收ノミデ事ガ足リルト云フコトガ一ツ、尙公債ノ發行ト云フコトニ付キマシテハ出來ルダケ抑制ヲスルト云フコトモ建前ニ相成ッテ居リマスルノデ、其ノ意味カラ致シマシテ、此ノ際ハ最小限度ノ新義州南市間ニ止メタ譯デアリマス、併シナガラ此ノ鐵道ノ一部ヲ買收致シマス爲ニ、殘ッテ居リマスル部分ガ營業ガ出來ナイト云フコトニナリマスルコト云フト、矢張り經營者ノ立場カラ見マシテ、全部ヲ買收

○政府委員(佐藤榮作君) 今回買收致シマスノハ營業線ヲ買收スルノデゴザイマシテ、鶴見臨港ノ場合ニ於キマシテモ鶴見カラ屬町ニ至ル開業線ヲ買收シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ鶴見、鶴見終點間ト云フ工事施行線ガ極ク僅カアリマス、ソレ以外ニ今御話ノ如キ免許線ガアル譯デアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ會社ガ存續スルト假定致シマスナラバ、營業線ノ部分ダケヲ省ガ買收致シマシテ、免許線ニ工事施行線ガ會社ト下ニ殘ルカト考ヘマス、會社ガ解散致シマスト致シマスレ

バ、是等ノ點ハ當然失效シテ參ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 多獅島鐵道ノコトデチヨット御伺ヒシタイと思ヒマス、昨日御説明ノアリマシタ多獅島鐵道ノ、將來此ノ多獅島ノ港灣ガ出來マスルト、分岐線ニナッテ居リマス部分モ當然是ハ買收サレルコトニナルト思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ今回ノヲ一緒ニ御買上ゲナサラズニ一部分買收スルト云フコトニナッタノデスカ、評價其ノ他面倒ガ多イト思ヒマス、殊ニ後ニ殘ツタ殘存ノ線路ノ經營ナゾモ相當ニ苦シクナルノデヤナイカト考ヘル、特ニ分ケテ御買ヒニナル理由ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 御説明申上ゲマス、御質問ノヤウニ此ノ多獅島鐵道全部一括シテ買收スルト云フコトモ考ヘ得ラレルノデアリマスルガ、今回ノ買收ノ目的ハ新義州、京城間ノ複線工事ヲ完成セシムル爲ニ、此ノ私設鐵道ヲ利用スルト云フコトガ買收ノ重要目的ニ相成ツテ居リマス、サウ致シマスルト圖面ノ此ノ楊市カラ多獅島港迄ハ、其ノ意味ニ於キマシテ關聯ノナイコトニナリマス、從ッテ國カラ見マスと云フト此ノ新義州、南市間ノ買收ノミデ事ガ足リルト云フコトガ一ツ、尙公債ノ發行ト云フコトニ付キマシテハ出來ルダケ抑制ヲスルト云フコトモ建前ニ相成ッテ居リマスルノデ、其ノ意味カラ致シマシテ、此ノ際ハ最小限度ノ新義州南市間ニ止メタ譯デアリマス、併シナガラ此ノ鐵道ノ一部ヲ買收致シマス爲ニ、殘ッテ居リマスル部分ガ營業ガ出來ナイト云フコトニナリマスルコト云フト、矢張り經營者ノ立場カラ見マシテ、全部ヲ買收

○政府委員(佐藤榮作君) 今回買收致シマスノハ營業線ヲ買收スルノデゴザイマシテ、鶴見臨港ノ場合ニ於キマシテモ鶴見カラ屬町ニ至ル開業線ヲ買收シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ鶴見、鶴見終點間ト云フ工事施行線ガ極ク僅カアリマス、ソレ以外ニ今御話ノ如キ免許線ガアル譯デアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ會社ガ存續スルト假定致シマスナラバ、營業線ノ部分ダケヲ省ガ買收致シマシテ、免許線ニ工事施行線ガ會社ト下ニ殘ルカト考ヘマス、會社ガ解散致シマスト致シマスレ

バ、是等ノ點ハ當然失效シテ參ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 多獅島鐵道ノコトデチヨット御伺ヒシタイと思ヒマス、昨日御説明ノアリマシタ多獅島鐵道ノ、將來此ノ多獅島ノ港灣ガ出來マスルト、分岐線ニナッテ居リマス部分モ當然是ハ買收サレルコトニナルト思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ今回ノヲ一緒ニ御買上ゲナサラズニ一部分買收スルト云フコトニナッタノデスカ、評價其ノ他面倒ガ多イト思ヒマス、殊ニ後ニ殘ツタ殘存ノ線路ノ經營ナゾモ相當ニ苦シクナルノデヤナイカト考ヘル、特ニ分ケテ御買ヒニナル理由ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 御説明申上ゲマス、御質問ノヤウニ此ノ多獅島鐵道全部一括シテ買收スルト云フコトモ考ヘ得ラレルノデアリマスルガ、今回ノ買收ノ目的ハ新義州、京城間ノ複線工事ヲ完成セシムル爲ニ、此ノ私設鐵道ヲ利用スルト云フコトガ買收ノ重要目的ニ相成ツテ居リマス、サウ致シマスルト圖面ノ此ノ楊市カラ多獅島港迄ハ、其ノ意味ニ於キマシテ關聯ノナイコトニナリマス、從ッテ國カラ見マスと云フト此ノ新義州、南市間ノ買收ノミデ事ガ足リルト云フコトガ一ツ、尙公債ノ發行ト云フコトニ付キマシテハ出來ルダケ抑制ヲスルト云フコトモ建前ニ相成ッテ居リマスルノデ、其ノ意味カラ致シマシテ、此ノ際ハ最小限度ノ新義州南市間ニ止メタ譯デアリマス、併シナガラ此ノ鐵道ノ一部ヲ買收致シマス爲ニ、殘ッテ居リマスル部分ガ營業ガ出來ナイト云フコトニナリマスルコト云フト、矢張り經營者ノ立場カラ見マシテ、全部ヲ買收

○政府委員(佐藤榮作君) 今回買收致シマスノハ營業線ヲ買收スルノデゴザイマシテ、鶴見臨港ノ場合ニ於キマシテモ鶴見カラ屬町ニ至ル開業線ヲ買收シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ鶴見、鶴見終點間ト云フ工事施行線ガ極ク僅カアリマス、ソレ以外ニ今御話ノ如キ免許線ガアル譯デアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ會社ガ存續スルト假定致シマスナラバ、營業線ノ部分ダケヲ省ガ買收致シマシテ、免許線ニ工事施行線ガ會社ト下ニ殘ルカト考ヘマス、會社ガ解散致シマスト致シマスレ

バ、是等ノ點ハ當然失效シテ參ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 多獅島鐵道ノコトデチヨット御伺ヒシタイと思ヒマス、昨日御説明ノアリマシタ多獅島鐵道ノ、將來此ノ多獅島ノ港灣ガ出來マスルト、分岐線ニナッテ居リマス部分モ當然是ハ買收サレルコトニナルト思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ今回ノヲ一緒ニ御買上ゲナサラズニ一部分買收スルト云フコトニナッタノデスカ、評價其ノ他面倒ガ多イト思ヒマス、殊ニ後ニ殘ツタ殘存ノ線路ノ經營ナゾモ相當ニ苦シクナルノデヤナイカト考ヘル、特ニ分ケテ御買ヒニナル理由ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 御説明申上ゲマス、御質問ノヤウニ此ノ多獅島鐵道全部一括シテ買收スルト云フコトモ考ヘ得ラレルノデアリマスルガ、今回ノ買收ノ目的ハ新義州、京城間ノ複線工事ヲ完成セシムル爲ニ、此ノ私設鐵道ヲ利用スルト云フコトガ買收ノ重要目的ニ相成ツテ居リマス、サウ致シマスルト圖面ノ此ノ楊市カラ多獅島港迄ハ、其ノ意味ニ於キマシテ關聯ノナイコトニナリマス、從ッテ國カラ見マスと云フト此ノ新義州、南市間ノ買收ノミデ事ガ足リルト云フコトガ一ツ、尙公債ノ發行ト云フコトニ付キマシテハ出來ルダケ抑制ヲスルト云フコトモ建前ニ相成ッテ居リマスルノデ、其ノ意味カラ致シマシテ、此ノ際ハ最小限度ノ新義州南市間ニ止メタ譯デアリマス、併シナガラ此ノ鐵道ノ一部ヲ買收致シマス爲ニ、殘ッテ居リマスル部分ガ營業ガ出來ナイト云フコトニナリマスルコト云フト、矢張り經營者ノ立場カラ見マシテ、全部ヲ買收

○政府委員(佐藤榮作君) 今回買收致シマスノハ營業線ヲ買收スルノデゴザイマシテ、鶴見臨港ノ場合ニ於キマシテモ鶴見カラ屬町ニ至ル開業線ヲ買收シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ鶴見、鶴見終點間ト云フ工事施行線ガ極ク僅カアリマス、ソレ以外ニ今御話ノ如キ免許線ガアル譯デアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ會社ガ存續スルト假定致シマスナラバ、營業線ノ部分ダケヲ省ガ買收致シマシテ、免許線ニ工事施行線ガ會社ト下ニ殘ルカト考ヘマス、會社ガ解散致シマスト致シマスレ

バ、是等ノ點ハ當然失效シテ參ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 多獅島鐵道ノコトデチヨット御伺ヒシタイと思ヒマス、昨日御説明ノアリマシタ多獅島鐵道ノ、將來此ノ多獅島ノ港灣ガ出來マスルト、分岐線ニナッテ居リマス部分モ當然是ハ買收サレルコトニナルト思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ今回ノヲ一緒ニ御買上ゲナサラズニ一部分買收スルト云フコトニナッタノデスカ、評價其ノ他面倒ガ多イト思ヒマス、殊ニ後ニ殘ツタ殘存ノ線路ノ經營ナゾモ相當ニ苦シクナルノデヤナイカト考ヘル、特ニ分ケテ御買ヒニナル理由ヲ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 御説明申上ゲマス、御質問ノヤウニ此ノ多獅島鐵道全部一括シテ買收スルト云フコトモ考ヘ得ラレルノデアリマスルガ、今回ノ買收ノ目的ハ新義州、京城間ノ複線工事ヲ完成セシムル爲ニ、此ノ私設鐵道ヲ利用スルト云フコトガ買收ノ重要目的ニ相成ツテ居リマス、サウ致シマスルト圖面ノ此ノ楊市カラ多獅島港迄ハ、其ノ意味ニ於キマシテ關聯ノナイコトニナリマス、從ッテ國カラ見マスと云フト此ノ新義州、南市間ノ買收ノミデ事ガ足リルト云フコトガ一ツ、尙公債ノ發行ト云フコトニ付キマシテハ出來ルダケ抑制ヲスルト云フコトモ建前ニ相成ッテ居リマスルノデ、其ノ意味カラ致シマシテ、此ノ際ハ最小限度ノ新義州南市間ニ止メタ譯デアリマス、併シナガラ此ノ鐵道ノ一部ヲ買收致シマス爲ニ、殘ッテ居リマスル部分ガ營業ガ出來ナイト云フコトニナリマスルコト云フト、矢張り經營者ノ立場カラ見マシテ、全部ヲ買收

○政府委員(佐藤榮作君) 今回買收致シマスノハ營業線ヲ買收スルノデゴザイマシテ、鶴見臨港ノ場合ニ於キマシテモ鶴見カラ屬町ニ至ル開業線ヲ買收シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ鶴見、鶴見終點間ト云フ工事施行線ガ極ク僅カアリマス、ソレ以外ニ今御話ノ如キ免許線ガアル譯デアリマス、此ノ場合ニ於キマシテ會社ガ存續スルト假定致シマスナラバ、營業線ノ部分ダケヲ省ガ買收致シマシテ、免許線ニ工事施行線ガ會社ト下ニ殘ルカト考ヘマス、會社ガ解散致シマスト致シマスレ

バ、是等ノ點ハ當然失效シテ參ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○男爵飯田精太郎君 多獅島鐵道ノコトデチヨット御伺ヒシタイと思ヒマス、昨日御説明ノアリマシタ多獅島鐵道ノ、將來此ノ多獅島ノ港灣ガ出來マスルト、分岐線ニナッテ居リマス部分モ當然是ハ買收サレルコトニナルト思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ今回ノヲ一緒ニ御買上ゲナサラズニ一部分買收スルト云フコトニナッタノデスカ、評價其ノ他面倒ガ多イト思ヒマス、殊ニ後ニ殘ツタ殘存ノ線路ノ經營ナゾモ相當ニ苦シクナルノデヤナイカト考ヘル、特ニ分ケテ御買ヒニナル理由ヲ伺ヒタイと思ヒマス

シテ、吳レルヤウニト云フ希望ガ當然アル
譯デアリマス、併シ此ノ多獅島鐵道ハ元々
此ノ多獅島港ニ先般御説明申上ゲマシタヤ
ウニ、多獅島港ノ貨物ノ吞吐ト云フコトガ
多獅島港本來ノ目的デアリマス、尙多獅島
港ハ現在工事中デアリマシテ、築港ガ完成
致シテ居リマセヌ、荷物ノ吞吐モ中途ニ在
ルノデアリマシテ、間モナク完成致シマス
ル、此ノ多獅島港ニ對スル吞吐ト云フコト
モ或ル程度ノ量ニ上ルコトニナリマス、斯
クナリマスルト、是ダケ殘シテ置キマシテ
モ、楊市カラ新義州迄ノ間ノ國鐵ニ私設鐵
道カラノ乗入ト云フコトヲ、國ノ方デ認メ
マスルト、此ノ多獅島港ノ運搬ノ使命ヲ持ッ
テ居リマスル鐵道トシテハ、矢張り私設鐵
道トシテ經營スルコトガ出來ルト、一面ニ
於キマシテ適正ナル配當ヲナス迄ニマダ今
日ハ至ッデ居リマセヌ、是ハ矢張り私設鐵道
補助法ニ依リマシテ或程度ノ補助金ヲ國カ
ラ支給致シマスルナラバ、私設ノ會社ト致
シマシテハ茲ニ十分ニ存續シ得ルト云フコ
トデ、其ノ點ハ私設鐵道ノ當事者トモ話合
ノ上デ今回ハ此ノ程度ニ止メルト云フコト
ニ致シマシタ次第デアリマス、尙建設費其
ノ買收ノ價格ノ割振ナドニ付テ面倒デハナ
イカト云フ御質問、之モ御尤デアリマスガ、
建設費以內デ買收スルト云フ地方鐵道法
ノ三十一條ノ規定ニ依ッテ買收スルコトニ
シテ居リマスガ、是ハ建設ノ當時カラ帳簿
價格ニ依リマシテ、南市、新義州間ガ幾ラ、
楊市、多獅島間ガ幾ラト、明瞭ニ建設費ト
云フモノハ出デ居リマスルノデ、其ノ點ノ
御疑問ハ明瞭ニナルカト思フノデアリマス
○委員長(公爵島津忠承君) 他ニ御質問ゴ
ザイマセヌカ、御質問ナイヤデアリマス

カラ本日ハ此ノ程度ニ止メタイト思ヒマス、
次會ハ十六日ノ午前十時カラ開會致シマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時四十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵島津 忠承君

副委員長 子爵秋田 重季君

委員

伯爵大木 喜福君

子爵安藤 信昭君

光行 次郎君

大野 綠郎君

内田 重成君

男爵飯田精太郎君

黑崎 定三君

男爵松田 正之君

男爵神山 嘉瑞君

竹内 可吉君

菅澤 重雄君

國務大臣

鐵道大臣 八田 嘉明君

政府委員

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

鐵道次官 長崎惣之助君

鐵道監 平山 孝君

同 佐藤 榮作君

同 堀木 鎌三君

同 小林 紫朗君

昭和十八年二月十七日印刷

昭和十八年二月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局